

平成28年度 太成学院大学高等学校 学校評価

1. めざす学校像

①建学の精神

教育は徳なり

②教育目標

- 心身を錬磨し、忍耐・勤勉・誠実の資質を涵養します。
- 周到緻密な生活指導を行い、人間性を深化させます。
- 基礎学力の補充に留意しながら、学力の充実・伸張をはかります。
- 集団生活を通して、社会連帯性を自覚させます。
- 能力適性に応じた進路指導を親切に行い、生涯学習を志向させます。

2. 中期的目標

①人間力の育成を図る教育の推進

- (1)挨拶の徹底指導を行う
- (2)身だしなみ指導の徹底を図る
- (3)建学の精神を近隣住民にも十分理解してもらう

②基礎学力の習得を図り、進路指導に活かす

- (1)基礎学力の向上のためのシラバス作成に努める
- (2)生徒の能力に応じた進路指導

③親切丁寧な生活指導を徹底する

- (1)いじめ根絶に向けた指導を行う
- (2)学習環境の整備
- (3)特別教育活動の促進

④教員の資質向上

- (1)学年・学級間の差のない指導
- (2)事務処理・個人情報管理の徹底
- (3)教員資質向上のための啓蒙活動の充実

3. 本年度の取り組み内容と自己評価

中期的目標	今年度の重点目標	具体的な取り組み計画・内容	評価指標	自己評価
①人間力の育成を図る教育の推進	(1)挨拶の徹底指導を行う	ア. 週間目標の重点目標に位置付け、日々啓発指導を行う	ア. 自己診断による達成度70%以上 (平成27年度51%) 内部評価…C③	ア. 今年度も58%の達成度であった。週間目標の重点目標に位置付けると同時に生徒会が毎朝校門に立ち、より一層の啓発に努めた。
	(2)身だしなみ指導を徹底する	ア. 年間5回、学年ごとに身だしなみ指導を実施し、事前指導・事後指導の徹底を図る	ア. 5回の実施並びに最終指導(学校指導)に残る生徒0名 (平成27年度2名)	ア. 今年度も年間5回実施し最終指導に残る生徒は0名であった。一定の成果はあったが、今後とも継続したい。
	(3)建学の精神を近隣住民にも十分理解してもらう	ア. 全クラブ(運動・文化)が週単位交代制で学校から駅までの清掃活動を行う。当番表を作成し、各クラブ部長指導のもと実施する  イ. 毎日職員が当番制により7~13名の配置により登下校補導を行い、生徒の安全と近隣への迷惑防止に努める	ア. 近隣アンケートによる達成度70%以上 (平成27年度近隣アンケート達成度54%)  イ. 近隣アンケートによる達成度85%以上 (平成27年度近隣アンケート達成度91%)	ア. 今年度も各クラブ交代制で実施。71%の達成度であった。より一層の努力を続けたい。  イ. 日によって混雑する場所や苦情のある場所の補導を重点的に行うなどより一層の努力をした。86%の達成度であった。昨年度より達成度が下降したのは反省点である。
②基礎学力の向上を図る	(1)基礎学力の向上のためのシラバス作成に努める	ア. 各教科・コース別に作成していたシラバスの見直しを図り補習等を含めた一貫性のあるシラバス作りを1年かけて行う	ア. シラバスの完成並びに開示	ア. 従来のシラバスを見直し各教科共に生徒の学力を考えたシラバスを作成した。説明会・懇談会を通じて保護者・本学志望者に公開している。
	(2)生徒の能力に応じた進路指導	ア. 学校斡旋による完全就職	ア. 学校斡旋就職率100%を目指す (平成27年度100%)	ア. 今年度も100%達成することができた。(5年連続)

③ 親切丁寧な生活指導を徹底する	(1)いじめ根絶に向けた指導を行う	ア. 毎学期クラスごとに年間3回のアンケート調査を行い、いじめに対する早期発見・早期解決に取り組む	ア. 年間3回のアンケート調査の実施と担任サポート室によるカウンセリングの実施 (平成27年度3回実施)	ア. 今年度はアンケート内容を一部変更し、より答えやすく、具体的に表示した。アンケート回収率も100%を達成年3回の実施も行き、ヒアリングも随時実施した。29年度は回答方式をマークシートに変え、より回答しやすくする
	(2)学習環境の整備	ア. ICT教育推進のため、その環境作りに取り組む  イ. 保護者懇談会を実施し、生徒・保護者・学校のトライアングルで生徒の指導を行う体制を確立させる	ア. 従来のパソコン教室を使った授業を各教科に広げる (平成27年度1教科のみ実施)  イ. 年間2回の保護者懇談会を実施し、生徒の学力把握・向上を家庭に協力を求める (平成27年度2回実施)	ア. 教科主任会議を通じ、各教科へのICT教育普及を呼びかけたが、なかなか実施する教科の増加には至らなかった。29年度はコンピュータの新機種入れ替えとタブレット導入を図り、より一層の推進を図る(3教科実施) イ. 今年度も年2回実施し、家庭との連絡を密にした。また、成績不振生徒についても、随時担任との懇談を行い、協力を得ることができた。29年度は教育後援会総会とは別日に設定し、より充実を図りたい。
	(3)特別教育活動の促進	ア. クラブ活動への参加を呼びかけると同時に各クラブの実績向上に向けて活発な活動の啓発に努める  イ. 学校行事の充実・指導徹底を行い、年初の学校行事予定表に従い、生徒全員が楽しく参加できる行事として取り組みたい	ア. 運動部・文化部共に全国大会出場複数クラブと地域貢献への尽力 (平成27年度全国大会出場クラブ3クラブ)  イ. 生徒アンケートによる満足度65%以上 (平成27年度生徒満足度54%)	ア. 運動部・文化部共に各大会・コンテストに力を注いだ。今年度は全国大会に出場したクラブが1クラブにとどまった。文化部においては従来行っていた音楽部の老人ホーム訪問のみならず、29年度には、地域お菓子教室など、より一層地域交流にも力を注ぎたい。 イ. 行事としての取り組みに関しては十分なものであったが、生徒の満足度は53%と前年の横ばいであった。次年度以降も満足度が高いものになるよう努力を続けたい。
④ 教員の資質向上	(1)学年・学級間の差のない指導	ア. 管理職によるSHR時の各教室巡回を行い、生徒への指導差が生じないようにする  イ. 各教科内において計画を立て教員の資質向上のためにも研究授業を実施したい	ア. 時間の許す限り毎日の教室巡回を実施する (平成27年度週3～4回実施)  イ. 最低1回以上の研究授業を行う (平成27年度実施せず)	ア. 本年度は特別なことがない限り、教頭による教室巡回を毎日実施した。次年度以降も毎日行いたい。  イ. 今年度も計画段階では実施する予定であった、時間的關係で実施できなかった。次年度の課題としては是非実施にこぎ着けたい。
	(2)事務処理・個人情報管理の徹底	ア. 学内ネットワークを使用し、紙媒体での資料をできる限り軽減するように努めると同時に個人情報漏洩防止に努める	ア. 自己診断による達成度80%以上 (平成27年度自己診断達成度75%) 内部評価…G①	ア. 自己診断による達成度は昨年度とほぼ横ばいの76%であった。ネットワーク上での確認の忘れなど、まだ課題点が残る。今後も個人情報漏洩防止に努めていきたい。
	(3)教員資質向上のための啓蒙活動の充実	ア. 進学説明会や体験入学などの募集活動を通じ、全職員が協力体制を作り生徒募集に努力する	ア. 自己診断による達成度90%以上 (平成27年度自己診断達成度85%) 内部評価…L① (説明会参加人数5回分計1458名)	ア. 自己診断達成度は昨年と同率の85%であったが、若い先生方を中心にスタッフとして説明会や体験入学で説明している姿が目立った。より高い数値を目指したい。(説明会参加人数5回分計1626名)

#### 4. 学校教育自己診断の結果と分析

##### ①人間力の育成を図る教育の推進

挨拶・身だしなみ指導と基本となる事項についての指導は、継続して行うことが肝要である。自己評価においては「教育目標達成」について平成27年度76%から今年度は91%と上昇しているが、日々の指導は続けていかなければならない。近隣に対する教育活動の推進認知についても近隣アンケートでは平成27年度54%、平成28年度71%と上昇しているが、自己評価においては両年とも86%の達成率であり、地域の人々との認知度乖離はまだあるものと思われる。今後とも地域貢献に力を注ぎたい。

##### ②基礎学力の習得を図り、進路指導に活かす

従来のシラバスを見直し、1年間かけて生徒の現在の学力・進度に応じたシラバスを作成し機会あるごとに公開するようにした。生徒アンケートで「生徒に合ったカリキュラム」(平成27年度57%・平成28年度70%)「わかりやすい授業」(平成27年度53%・平成28年度65%)と改善が見られる。しかし、まだまだ教員側の努力を要する点があるものと考え、進路指導に関しては、5年連続学内幹旋就職率100%を達成でき、一定の評価を得ることができた。

##### ③親切丁寧な生活指導を徹底する

「いじめ」防止については、学校として全力を挙げて取り組む姿勢である。今後とも生徒が答えやすいアンケートを実施すると共に、悩みを気軽に相談でき解決できるシステムを充実していきたい。ICT教育についても、実施教科の増加と推進を今後とも進めていきたい。29年度には新機種パソコン・タブレット導入を行い、ICT教育充実を図っていきたい。保護者懇談会については、今年度総会と別日程で実施し好評を得た。次年度以降も保護者との連携を密にとり、生徒指導にあたっていきたい。クラブ活動については、全体生徒の4割弱がクラブ活動に参加しているが、より加入への推進を図っていききたい。また、文化部を中心とした地域交流・貢献にも寄与していきたい。安全面では平成29年度に落下防止のためエントランスに安全ネットを設置する予定である。

##### ④教員の資質向上

週1回行われる各教科会議を通じて、教員の資質向上を今後とも図っていききたい。学内ネットワークにより、個人情報漏洩にも力を注ぐ。幸い漏洩という事故はなかったが、事が起きてからでは遅いので、その防止対策は次年度以降もしっかりと整えていきたい。説明会や体験入学など外部の方々と接する行事において、若い先生方の参加育成に力を入れ資質向上を図りたい。

#### 5. 学校関係者評価

##### ①人間力の育成を図る教育の推進

私学にとって「建学の精神」が一番大切なもの。挨拶は運動クラブの生徒を中心に以前に比べてしっかりと行えるようになってきた。また、生徒会が毎朝行っている「挨拶運動」も浸透してきた。今後も人間力の育成を図る教育推進を目指して努力を続けてほしい。

##### ②基礎学力の習得を図り、進路指導に活かす

基礎学力の定着は難しいものと思われるが、シラバス等の改善を検討し、生徒自身が満足し、学力伸長を図れる授業を今後とも展開してほしい。

##### ③親切丁寧な生活指導を徹底する

「いじめ」「体罰」といった事象は全くなかったが、遅刻・欠席に対する指導を今後とも厳しく継続してもらいたい。また、新校舎が建設されて4年目を迎えるが、いつまでも美しい校舎であるように清掃の徹底についても指導してもらいたい。

##### ④教員の資質向上

先生方の努力は並大抵のものではないと思うが、各クラス間で齟齬のない指導に対する努力は今後とも継続してほしい。

##### ⑤その他

「生徒アンケート」「保護者アンケート」の結果を見ても、学校運営・生徒指導についてはほとんど問題なく生徒・保護者共に安心して学校に任せられることができると確信している。学校行事については今後とも積極的な学校からの発信をお願いしたい。今後とも、生徒が満足し、安心で安全な学校生活を送れるよう期待します。

# 平成28年度 内部評価

■ S≥100%

■ 80%≤A<100%

■ 60%≤B<80%

■ 40%≤C<60%

■ D<40%

Category	Item	S≥100%	80%≤A<100%	60%≤B<80%	40%≤C<60%	D<40%
A	教育目標					
	① 教育目標を理解し、達成努力したか		61	30	9	
	② 校務分掌の中で教育目標が遂行できたか		72	21	7	
B	校務分掌					
	① 各分署の最重要課題に全力で取り組めたか	8	54	29	4	5
	② 各分署での年間計画に則って運営できたか	10	62	23	2	3
C	生徒指導					
	① 中途退学者の減少に努めたか		70	30		
	② 欠席・遅刻・早退の防止に努力したか		56	42	2	
	③ 日常の生徒指導は適切であったか	2	56	40	2	
D	学習指導					
	① カリキュラムに沿った授業を展開したか	7	59	21	6	7
	② 生徒の学力向上に努めたか	9	55	23	8	5
	③ 授業内容は妥当であったか	11	50	36	3	
E	進路指導					
	① 生徒の進路希望にかなった進路指導はできたか		77	21	2	
	② 進路決定に際し、生徒や家庭との連絡を密にできたか		95		5	
	③ 各科・各コースに応じた進路指導ができたか		76	24		
F	学年・学級					
	① ホームルーム活動は充実していたか		71	29		
	② 各クラス間の連絡は密にとれたか		71	29		
	③ 各クラスの統一した指導はできたか	2	59	33	6	
G	文書管理					
	① 帳票など個人情報に関する書類は厳密に管理できたか		76	24		
	② 正確なデータ発行や成績処理はできたか		86	14		
H	安全・保健					
	① 生徒の健康管理は十分であったか	6	82	9	3	
	② 登下校時の安全は確保できたか	7	73	20		
	③ 校内での安全管理は十分であったか	4	76	20		
	④ 職員の健康管理は十分であったか	4	76	12	8	
I	人権教育					
	① 人権教育の推進に尽力したか		85	11	4	
	② 年間計画に沿って人権教育を行ったか		88	12		
J	環境・美化					
	① 教室清掃の徹底に努力したか	6	65	29		
	② 校舎の美化に注意を払ったか	4	59	37		
K	行事・部活動					
	① 学校行事の運営はスムーズであったか		77	8	5	10
	② 部活動は充実していたか		65	35		
L	その他					
	① 募集活動に力を注いだか		85	5	5	5
	② 教育後援会との連絡は十分であったか		100			
	③ 地域住民や中学校に対して配慮したか		86	14		

## 保護者アンケート

よくできている。

ほぼできている。

あまりできていない。

できていない。

学校運営				
1) 学校生活が充実している	24	47	19	10
2) 学校行事が活発である	10	28	43	19
3) 学校の施設や設備は満足できる	53	35	6	6
4) 学校が出す文書・事務連絡は適切である	47	29	19	5
学習指導				
1) 生徒にあったカリキュラムである	15	50	20	15
2) 子どもはわかりやすい授業であると言っている	14	38	38	10
3) 進路指導が行き届いている	13	47	27	13
生徒指導				
1) 生活規律や学習規律など基本的な生活習慣の確立に力を入れている	33	43	19	5
2) 教員が親身になって相談にのってくれる	29	43	14	14
3) 校則指導が徹底されている	33	38	19	10

## 生徒アンケート

よくできている。

ほぼできている。

あまりできていない。

できていない。

学校運営				
1) 学校生活が充実している	29	48	18	5
2) 学校行事が活発である	17	36	28	19
3) 環境整備が行われている	50	36	10	4
4) クラスが楽しい	43	41	12	4
学習指導				
1) 生徒にあったカリキュラムである	19	51	24	6
2) わかりやすい授業である	14	51	29	6
3) 進路指導が行き届いている	21	50	20	9
生徒指導				
1) 生活規律や学習規律など基本的な生活習慣の確立に力を入れている	39	46	11	4
2) 教員が親身になって相談にのってくれる	28	42	20	10
3) 校則を遵守する	36	43	15	6

# 外部アンケート

■ よくできている。
 ■ ほぼできている。
 ■ あまりできていない。
 ■ できていない。

■ A
 ■ B
 ■ C
 ■ D
 (%)

## 学校運営

1) 学校全体の雰囲気が良い	29	57	14	
2) 学校行事について実施日の連絡がある	64	29	7	
3) 体育大会や文化祭で校庭でマイクを使う時は事前に連絡がある	36	43	14	7
4) 学校行事で近隣の方が参加できるものがある	43	36	14	7
5) 苦情や意見に対してすぐに対応してくれる	43	43	14	

## 生徒指導

1) 学校の教育目標や指導方針に沿った教育を行っている	21	72	7	
2) 通学路で生徒が近隣の方に迷惑を掛けないように指導されている	57	29	7	7
3) 普段の授業中にうるさく騒いだり、校外に出て近隣の方に迷惑を掛けないように指導されている	43	50	7	
4) 生徒達が通学路の清掃等、奉仕活動をしている	14	57	29	
5) 生徒達がよく挨拶を励行する	29	43	14	14